関東のいづもさん
むすひ

令和元年 12 月号

発　行
出雲大社相模分祠
神奈川県秦野市平沢 1221
TEL:0463-81-1122
FAX:0463-82-1728
編集兼発行人
副分祠長　草山和泉
季刊毎年 2 回発行
http://www.izumosan.com/

新春 初詣のご案内

一、正月期間のご参拝について

○大晦日より元旦晩まで夜間参拝ができます。
・大晦日　二十三時より元旦祈祷受付開始
・元旦○時　新年の報鼓　初詣開始
新年初祈祷一番祈祷斎行
・午前二時三〇分　夜間祈祷受付終了
・午前二時三〇分　境内大テントお守り所・露天商消灯
但し、境内は夜間ライトアップ特別警備有り
お参り・おみくじ・授与品頒布対応は可
・午前六時三〇分　新年初祈祷受付開始
・午前六時四〇分　初日の出
・午前七時　境内大テントお守り所頒布開始
・午前十時　龍蛇神の社　特別拝観開始
・午後五時　祈祷受付終了
・午後八時　授与品・おみくじ頒布終了
※夜間参拝可・夜間は二十時までライトアップ有

○二日
・祈祷受付（午前八時三十分～午後五時）
・お守り所（午前八時三十分～午後八時）
・龍蛇神の社特別拝観（午前十時～午後三時三十分）
※夜間参拝可・夜間は二十時までライトアップ有

○三日
・祈祷受付（午前八時三十分～午後五時）
・お守り所（午前八時三十分～午後八時）
・龍蛇神の社特別拝観（午前十時～午後三時三十分）
・月次祭（午前十時三十分）
・餅つき（正午頃）
・福迎祭斎行（午後一時三十分）
・福餅まき（午後二時三十分）
※夜間参拝可・夜間は二十時までライトアップ有

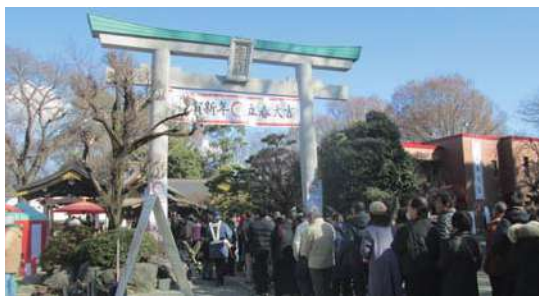
○新年初祈祷は一月中毎日行っております。（予約不要）

○正月三が日は境内に一三〇台の駐車場・秦野市保健福祉センター他約五〇〇台駐車場をご用意しておりますが、毎年大変混み合い利用が難しい状態です。なるべくバスや公共機関のご利用にご協力下さいませ。

◇無料送迎マイクロバス運行のご案内
秦野駅南口～当分祠近くまで　予約不要無料
期間　元旦～六日(月)一月十一日(土)十二日(日)十三日（月祝）十八日（土）十九日（日）二十五日（土）二十六日（日）二月三日（月・節分）

新春福餅まき　福迎祭斎行

令和二年一月三日恒例の福迎祭が執り行われる。福の神とも名高いダイコク様の一年で最初に福を迎える祭典。宝富士関、照強関はじめ伊勢ケ浜部屋による盛大な餅まきが開催される。お相撲さん・崇敬者による餅つきや、ダイコク様エビス様によるお菓子配り等も予定されている。



正月三が日を通して境内は入りきれないほどの参拝客に溢れ、新年の干支飾りや破魔矢など正月しかない縁起の良い飾り物に彩られ、賑やかな様相を見せる。元旦より新年初祈祷が催され、古式豊かな出雲神楽の音色を奏で新年最初の願いを神様にお願いする。特に新年の初祈祷には無病息災の「延壽屠蘇」（えんじゅとそ）を特別授与品として用意している（一世帯につき一体・先着千名迄）。

福迎祭

例年三が日が終わる前に終了する事も多いが是非ともこの機会にご参拝頂きたい。三が日には十万人以上の参拝者が訪れ、屋台の露店商も参道を埋め尽くさんばかりに出店し、三が日を通じてお参りの列は絶えない。おみくじの行列など大変な賑いで、授与所に入りきらない正月飾り等は境内に特設テントを設けて授与している。

境内西側千年の森「龍蛇神の社」においては御扉を開いて、御祭神である龍蛇神様の特別拝観を斎行。お参りの方に巫女より縁起の良いお屠蘇（神酒）や秦野の名水を授与している。境内に於いては当分祠直営和菓子八雲庵の出張販売も行われる。境内どこをとっても賑やかで全部回るのも一興である。一月は日暮れ時も早いが三が日は夜間も境内はライトアップされ午後八時までおみくじなどもできる。昼間と打って変わって静寂な境内で落ち着いてお参りできるのでお勧めである。

照強関（幕下時代）

ダイコク市開催！！

令和二年新春より、当分祠境内参道に於いて、ダイコク市が開催される。秦野を中心に活動する丹沢マルシェ・マーケットとの共同企画となる。Funny's café のハンバーガー・ロングポテト販売を始め地元商店やクレープ屋台・アルコール・ドリンク類等・おいしいキッチンカーの出店も予定。当分祠のお正月にしかない特別なマルシェが楽しめる。ダイコク市丹沢マルシェ・マーケットの日程は元旦より六日、一月十一日（土）十二日（日）十三日（月祝）十八日（土）十九日（日）二十五日（土）二十六日（日）二月三日（月・節分）を予定。雨天時中止。また、当分祠においても開催日に境内に大テント特設授与所を開設し、「立春大吉縁起」「破魔矢」「干支縁起物」をはじめこの時期にしかない授与品・縁起物も多い。三が日にお参りできなかった方の為にも初詣行事や新年初祈祷は一月いっぱい毎週行われ、参拝者に向けて新年の『いづも暦』の無料頒布（一万冊限定）等も執り行っているので是非ご参拝頂きたい。

令和二年〔庚子〕ダイコク様とネズミの関係

出雲大社の御祭神大国主命は、須佐之男命（スサノオノミコト）の娘、須勢理毘売（スセリヒメ）に見初められて恋に落ちた。しかし、大国主命はこのことを知った須佐之男命から厳しい試練を与えられることになった。第一日目は蛇のいる部屋、二日目は蜂や百足の部屋に寝せられたが二夜とも姫の機転で難を切り抜けることが出来た。三日目には大野の中に射込まれた鳴鏑（ナリカブラ）の矢を拾って来ることを命ぜられた。大国主命が矢を拾いに野原に入るとすぐに火を放たれ、逃げ惑っていると、ネズミが出てきて「内はほらほら、外はすぶすぶ（内部はうつろで、外部はすぼんでいる）」と言うので、そこを踏むと、地下は空洞になっていてそこに落ち込んだ。そのまま避難していると火は焼け過ぎていった。その上、その鼠は鳴鏑の矢をくわえて持ってきてくれた。こうして大国主命は須佐之男命に矢を渡すことができた。鼠に助けられたのである。その後、大国主命と姫は無事に「根の国」を脱出して、出雲に新しい国を開いた。今日でも宗祠出雲大社では、六十日に一回巡る「甲子」（きのえね）の日には、御本殿にて「甲子祭」をお仕えし、農業の繁栄が祈願される。「甲子祭」は年間六回ないしは七回お仕えされ、この内四回の祭典で籾種・綿種・水・麦の特殊神饌がお供えされている。

無料送迎バスのご案内（元旦より六日・毎週末）

◇昨年大変好評だった送迎バスを本年も実施する。秦野駅南口より当社近くまで送迎マイクロバスを運行。予約不要無料でご利用できますが、乗車人数に限りもございますのでご了承下さいませ。（二十五名乗り）

◇ダイコク市丹沢マルシェ・マーケット開催日にも送迎バスを運行。

元旦～三日は神社周辺道路が大変混み合いますので神社側バス停は八雲庵前になります。他の日は境内入口にバス停を用意します。

1月4日（土）　5日（日）　6日（月）
11日（土）12日（日）13日（月祝）
18日（土）19日（日）25日（土）26日（日）
2月3日（月）【節分祭】　毎週末40分間隔運行
※送迎バスの運行日はダイコク市開催　丹沢マルシェマーケットほかキッチンカー屋台販売あり

秦野駅南口発	時	出雲大社相模分祠発【参道停留所】
30	9	50
10　50	10	30
30	11	10　50
10　50	12	30
30	13	10　50
10　50	14	30
30	15	10　50
10	16	30

参拝者専用無料バス時刻表
秦野駅南口発⇔出雲大社相模分祠行
元旦・2日・3日　15分間隔で運行

秦野駅南口発	時	出雲大社相模分祠発【八雲庵前停留所】
30 45	9	
00 15 30 45	10	00 15 30 45
00 15 30 45	11	00 15 30 45
00 15 30 45	12	00 15 30 45
00 15 30 45	13	00 15 30 45
00 15 30 45	14	00 15 30 45
00 15 30 45	15	00 15 30 45
00	16	00 15 30 45
	17	00